

# 熊谷(佐井中)女子4冠

400リレー、走り高跳び、100<sup>㉒</sup>障害、七種競技



【男子3000<sup>㉒</sup>障害】9分27秒64で優勝した吹越清陽(八学光星)

「95点の出来」  
 ○男子3000<sup>㉒</sup>障害  
 のデビュー戦で優勝を果たした吹越(八学光星)。「95点の出来」と大きく喜ぶ。残り1000<sup>㉒</sup>を切ったところまでトップにノスる。序盤は先頭に行かず、後方で虎視眈眈と前に出る機会をつかっていた。落ちてくるライバルを次々とかわす。残り1000<sup>㉒</sup>を切ったところまでトップにノスる。序盤は先頭に行かず、後方で虎視眈眈と前に出る機会をつかっていた。落ちてくるライバルを次々とかわす。残り1000<sup>㉒</sup>を切ったところまでトップにノスる。

## 男子3000<sup>㉒</sup>障害 吹越(光星)制す

陸上  
 (29日)県総合運動公園陸上競技場  
 【男子】  
 ▼200<sup>㉒</sup> ①下平健正(八戸)21秒11②中村 弘前東 20秒00③松井 黒石西 20秒09④寺澤(八戸西) ⑤菅野 天来(青森北) ⑥青森北  
 ▼110<sup>㉒</sup>障害 ①工藤大晴(青森北) ②大澤 15秒14③中嶋(天来) 15秒70④掛端(八戸西) ⑤須藤 青森北 ⑥長内(弘前東) ⑦吹越清陽 ▼3000<sup>㉒</sup>障害 ①吹越清陽 9分27秒64②佐藤(八学光星) 9分27秒64③手野(黒石西) 9分21秒16④野(五所工) ⑤内野(八学光星) ⑥小橋(八戸高専) ▼1600<sup>㉒</sup>リレー ①青森北(小林・山口・高橋・小形)3分19秒03②大会新弘前東 2分19秒71③八戸西 3分21秒38④木造(八戸) ⑤大澤 ▼200<sup>㉒</sup> ①佐々木大地(八戸西)13秒91②高田座(八戸高専)13秒17③野(五所工)13秒13④内(青森) ⑤瀧藤(黒石西) ⑥大池(千和目) ▼田舎投げ ①菊池颯太(弘前) 51秒09②会新の川嶋(同) 38秒55③大野(黒石)38秒20④菊池(田舎部) ⑤千田(五所工) ⑥上野(六所) ▼学校対抗 ①弘前東70点②八戸47・8点③八学光星34点④青森山田⑤大澤⑥青森北 弘前東は5年連続20度目の優勝  
 【女子】  
 ▼200<sup>㉒</sup> ①工藤千佳(木造)24秒83②山野(八戸西)25秒55③田中 青森北 25秒58④丸山(弘前東) ⑤三上(東義) ⑥寺本(弘前東) ▼800<sup>㉒</sup> ①山光(青森)2分17秒16②福村(青森山田)2分20秒51③山本(同)2分20秒13④原(五所工) ⑤寺田 青森山田 ⑥瀧谷 青森南 ▼3000<sup>㉒</sup>リレー ①七カ・マレット(青森山田)9分22秒09②藤ヶ森(同)9分55秒31③高木(同)10分01秒49④百澤(八学光星) ⑤前田(同) ⑥菊藤(同) ▼100<sup>㉒</sup>障害 ①熊谷彩夏(木造)14秒92②野(八戸西)16秒33③星 青森中 16秒44④小泉(青森東) ⑤三上 青森西 ⑥小泉(七戸) ▼1600<sup>㉒</sup>リレー ①青森北(吉本・高越・船橋・田中)3分59秒09②弘前東 4分22秒79③青森4分3秒62④八戸西⑤木造⑥青森山田 ▼砲丸投げ ①山下慶次(弘前) 12秒85②山形(五所工) ③野(青森北) ④熊谷彩夏(木造)46秒1点⑤県高専新、大会新⑥山田(青森北) 33秒1点⑦佐藤(天来)33秒4点⑧栗原(八戸西) ⑨佐藤(田舎部) ⑩小林(弘前東) ▼学校対抗 ①青森北48点②弘前東47点③木造45点④青森山田⑤八戸西⑥青森 青森北は7年ぶり2度目の優勝

青森県高校総体  
 第99回青森県高校総体は29日、先行開催の陸上、サッカー、ヨットを実施した。陸上は青森市の県総合運動公園陸上競技場で男女13種目があり、男子200<sup>㉒</sup>は下平健正(八戸)が制し、七種競技で県高校新、大会2回戦を突破した。ヨットは第2日の100<sup>㉒</sup>と2冠を達成。同3000<sup>㉒</sup>障害は吹越清陽(八学光星)、0<sup>㉒</sup>リレー、走り高跳びと

## インターハイへ弾み

○…女子400<sup>㉒</sup>リレー、走り高跳び、100<sup>㉒</sup>障害、七種競技の4冠を成し遂げた熊谷彩夏(佐井中一木造)。「(1600<sup>㉒</sup>リレーを合わせ)5冠がしたかった。でも4冠はうれしい」と笑顔を見せた。走り高跳びの合間に400<sup>㉒</sup>リレーなどがあり「スケジュール

【女子七種競技】県高校新と大会新で優勝した熊谷彩夏(木造、ゼッケン1)の800<sup>㉒</sup>での走り＝県総合運動公園陸上競技場  
 が大変」だったが、七種競技では県高校記録と大会記録を塗り替えての優勝。目標のインターハイ入賞に向け弾みをつけた。大会期間中の4日間、両親と妹が応援に駆け付けた。離れて暮らす家族からの声援に応え結果を出した熊谷は「まだまだ記録を伸ばしたい」と意気込んだ。